

# モニタリング結果報告書 (令和4年度)

## 1. 施設概要

施設名	三浦しらとり園		
所在地	横須賀市長沢4-13-1		
サイトURL	http://kanagawa-seiwa.or.jp/shisetu/shiratori/index.htm		
根拠条例	三浦しらとり園条例		
設置目的(設置時期)	児童福祉法第7条第2項に規定する障害児入所支援、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第1項に規定する施設障害福祉サービス等を行い、障がい児及び障がい者の福祉の増進を図ることを目的として設置。(昭和58年4月)		
指定管理者名	社会福祉法人清和会		
指定期間	H23.4.1 ~ R5.3.31 (2011年) (2023年)	施設所管課 (事務所)	障害サービス課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>利用状況はC評価、利用者の満足度はA評価、収支状況はS評価となったため、3項目評価はB評価としました。</p> <p>利用状況については、目標達成率84.3%となったため、C評価となりました。</p> <p>利用者の満足度については、当事者目線の障害福祉の実現を目指し、昨年度より利用者本人に対して満足度調査を実施し、満足と回答した割合が85.3%となったため、A評価となりました。</p> <p>収支状況については、収支差額の決算額と収支差額の当初予算額の割合が799.12%となり、S評価となりました。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆管理運営等の状況 施設の運営理念の一つは、利用者の豊かな生活を実現することです。日々の利用者支援、安全管理、地域との連携、人材育成は着実に実施されました。</li><li>◆利用状況 利用状況については、目標達成率84.3%となったため、C評価となりました。</li><li>◆利用者の満足度 利用者の満足度については、当事者目線の障害福祉の実現を目指し、昨年度より利用者本人に対して満足度調査を実施し、満足と回答した割合が85.3%となったため、A評価となりました。</li><li>◆収支状況 収支状況については、収支差額の決算額と収支差額の当初予算額の割合が799.12%となり、S評価となりました。</li><li>◆苦情・要望等 令和4年度は苦情は1件ありました。真摯に対応を行い再発防止を講じました。</li><li>◆事故・不祥事等 利用者の転倒事故5件、事件5件、死亡2件がありました。</li><li>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査及び労働基準監督署からの指摘事項はありませんでした。</li><li>◆その他 令和4年度3項目評価はB評価としました。当事者目線の障がい福祉推進条例が施行されましたので、指定管理者と連携を強化し、さらなる充実した支援を展開していきます。</li></ul>

## 3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	C	A	S	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

#### 4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	年4回実施	<p>当事者目線の支援サポートチームによるモニタリングに併せて、計4日間現地確認等を行った。</p> <p>生活環境については築40年と老朽化が進み修繕がおいついていないことが課題として挙げられているが、支援員が修繕や環境整備に積極的に取り組む姿勢があり、多床室を区切りプライバシースペースの確保に努めていた。</p> <p>利用者支援の食事面については、安全性面だけではなく、サービスとしての適切性の視点の見直しも必要である。現地調査でのサポートチームからの指摘に速やかに対応する姿勢があったとの評価をいただく。</p>
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	令和4年4月～令和5年3月までの間、毎月実施	県が指定管理者の法人運営会議に参加し、管理運営上の課題等の情報共有及び意見交換を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		虐待通報があった2事案に対し、支援体制等の改善を求めた。 ※2事案とも虐待認定はされていない。

#### 5. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
利用児者支援の基本的考え方及び理念（障害の程度に応じた処遇の充実を図る）	施設の運営理念の一つは、利用者の豊かな生活を実現することです。また日中活動の充実を図っています。	
利用者サービス向上の取組	日頃より利用者・家族の意向を確認しつつ、個別支援計画を進めると共に、意思決定支援を大切にしながら、ストレングス視点での計画作成に努めています。	
地域活動支援の実施方法（ボランティア受入、地域交流、施設開放の考え方）	地域交流のため、施設を一部貸与し、地域のお祭り等に参加して交流を図っています。地域ボランティアの受け入れも令和4年度は20件行いました。	
入所児者の地域生活移行の取組について	<p>過齢児とならないよう、関係各所と連携し、地域移行に取り組んでいます。</p> <p>入所利用者の元々の地域における繋がりを断ち切ることなく、関係各所と連携し、本人を中心に据え、意思決定支援を行いながら地域生活移行に努めています。</p>	

安全管理の考え方について	リスクマネジメント委員会において事件の検証をし、再発防止に努めています。	
職員の人材育成及び研修計画について	各研修会に定期的に職員を派遣し、また清和会独自の研修も実施しました。 園内実践報告会を開催し、家族やオンブズパーソンに園での取り組みを伝えると共に、報告職員が日頃の支援を振り返る機会を持ちました。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
特定相談支援事業及び障害児相談支援事業	特定相談支援事業: 契約者数102件、年間実績計183件 障害児相談支援事業: 契約者数1件、年間実績計2件

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	41,375	43,119	39,398
対前年度比		104.2%	91.4%
目標値	46,720	46,720	46,720
目標達成率	88.6%	92.3%	84.3%

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり目標値の設定が困難であるため  
入所定員×365日で設定（閏年の年度は366日）

利用者数の算出方法（対象）： 入所児者の延べ人数（定員：成人88名、児童40名）

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

### 【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響  
 感染防止対策を優先せざるを得ない状況があり、入所者数よりも退所者数の方が上回る結果となった。前年度よりも見学、体験は増えたものの、短期入所者数の目標達成率が下がる結果となった。  
 今後は新型コロナウイルス感染症の類型が5類相当となったこともあり、活動制限の緩和が見込まれるため、入所者数の増加も見込んでいる。

②令和4年度の対応状況  
 基本的な感染防止対策（マスク着用、手指消毒、換気の徹底、健康記録等）を継続しつつ、面会等の行動制限については緩和をした。

## 7. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。
A	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	重度の利用者が多い状況から、利用者の回答しやすさに配慮し、選択肢を「はい」「いいえ」の2択に整理しました。	利用者に対して満足度調査カードや写真等使用し、を実施しました。回答の理由を根拠として記録しその後の利用者支援に活かせるように蓄積しています。

[ サービス内容の総合評価 ]

質問内容 好きなことや楽しいことができていますか  
 実施した調査の配布方法 対面 回収数/配布数 109 / 109 = 100.0%  
 配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合評価の回答数	93	0	0	16	109	
回答率	85.3%	0.0%	0.0%	14.7%		
前年度の回答数	86	0	0	28	114	
前年度回答率	75.4%	0.0%	0.0%	24.6%		
回答率の対前年度比	113%	-	-	60%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

**【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】**  
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

## 8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額がプラスの施設≫ 収支差額の決算額／収支差額の当初予算額の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支差額の決算額/収支差額の当初予算額
前々年度	当初予算	604,147	666,244	108,484	備考欄参照	1,378,875	1,360,880	17,995	
	決算	604,147	705,003	110,212	備考欄参照	1,419,362	1,363,971	55,391	307.81%
前年度	当初予算	604,147	687,729	4,550	備考欄参照	1,296,426	1,278,499	17,927	
	決算	604,732	696,306	5,934	備考欄参照	1,306,972	1,259,709	47,263	263.64%
令和4年度	当初予算	604,500	689,020	4,550	備考欄参照	1,298,070	1,289,090	8,980	
	決算	604,500	668,681	23,341	備考欄参照	1,296,522	1,224,761	71,761	799.12%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【その他収入の主な内訳について】(単位：千円)

○2022年度(令和4年度)	当初予算	決算
・受入研修費収入	432	475
・利用者等外給食費収入	338	339
・雑収入	345	518
・その他の収入(県研修委託費収入)	3,680	3,680
・その他の収入(退職一時金)	2,082	2,082
○2021年度(令和3年度)	当初予算	決算
・受入研修費収入	400	450
・利用者等外給食費収入	600	543
・雑収入	150	1,371
・その他の収入(県研修委託費収入)	3,400	3,570
○2020年度(令和2年度)	当初予算	決算
・受入研修費収入	310	377
・利用者等外給食費収入	1,100	659
・雑収入	130	184
・その他の収入(県研修委託費収入)	3,400	2,913
・退職給付引当資産取崩収入	3,544	5,567
・人件費積立資産取崩収入	60,000	97,000
・修繕積立資産取崩収入	20,000	3,000
・長期前払費用返還金収入	0	512
・建築積立資産取崩収入	20,000	0

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

- ①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響  
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照
- ②令和4年度の対応状況  
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		1 件	短期利用者の自傷による怪我の状態について、確認ができておらず、帰宅後に家族より苦情があった。	短期利用中の状況を確認し、改めて家族に謝罪と報告を行う。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①発生時の詳細な状況</li> <li>②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入）</li> <li>③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等）</li> <li>④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入）</li> <li>⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入）</li> <li>⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）</li> </ul>
4月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通院に向かう際駐車場で転倒し3月31日に転倒し裂傷した箇所を再度裂傷し、5針縫合している。</li> <li>②事故時の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③翌日12日に再度同じ箇所を裂傷する。</li> <li>④家族に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤加齢に伴う下肢筋力の低下と不穩時のふらつき。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
4月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①眠気が強い際の移動を職員が支えようとするが本人が拒否しその後転倒して、前日に縫合した箇所を裂傷する。</li> <li>②事故時の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③転倒が続いたことを受け、ヘッドギアの着用で、怪我の防止に努める。</li> <li>④家族に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤加齢に伴う下肢筋力の低下と不穩時のふらつき。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
4月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①職員が歩行介助し、椅子に座らせる際にバランスを崩し転倒し、右肩結節を骨折する。</li> <li>②事故時の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③三角巾で幹部を固定し1か月程で完治している。</li> <li>④家族後見人に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤医師の診断では脳の虚血がバランスを崩したことの原因ではないかとの事。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現認できていないが本人の話では机にぶつけたとのこと、てんかんや眠気によるふらつきもある方なので、その際右鎖骨をぶつけて骨折したと思われる。</li> <li>②事故時の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③鎖骨バンドで固定し1か月程で完治している。</li> <li>④家族に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤てんかん発作後のふらつき。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
7月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①寮内で椅子から飛び降りて遊んでいた際、着地に失敗したようで、後日痛みと共に、足の骨折（ヒビ）が発見される。</li> <li>②事故の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③シーネ固定し一か月で完治する。</li> <li>④家族後見人に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤本人遊ぶことに夢中になり、後々痛みが増してきた様子。</li> <li>⑥無し</li> </ul>

8月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デイルームで過ごしていた際本人の意識がないことに気が付き、救急対応に繋げるが死亡が確認される。死因は心不全で事件性はなしとのこと。</li> <li>②事故時の状況について電話にて第一報を行う。</li> <li>③警察の取り調べや観察医の診断では事件性はない。</li> <li>④家族後見人に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤元々の持病等が影響し心不全につながったと考えられる。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
9月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①男児利用者同士が互いの居室で陰部をふれあう。</li> <li>②事故の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③双方児童に対して児相による聞き取りと性的プログラムを行う。</li> <li>④児相を通じて関係者に報告するが家族等からのクレームはなかった。</li> <li>⑤様々なストレスが性的案件に繋がることも考えられる。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
10月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①起床介助時ベッド上の当該利用者が、寝返りを打ち転落し、頭部を裂傷し5針縫合する。</li> <li>②事故の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③頭部を打っていた事もあり事故数日の発熱や嘔吐等を注視していたが、著変はみられなかった。</li> <li>④家族後見人に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤衣類を取ろうと、ベッドから離れた為、咄嗟の動きに対応できなかった。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①修学旅行で腹痛を訴え帰園、その後は眠気強く居室で寝入ってしまうが、夜間の見回り時、意識不明の状態で見送られるが、搬送先の病院で死亡が確認される。</li> <li>②事故の状況について電話にて第一報を行う。</li> <li>③家族は気持ちの整理がつかず園に説明を求める。</li> <li>④警察の取り調べと、検死の結果事件性や施設側の瑕疵によるものではなく、予見ができなかったものとしてまとめられ、その後家族からのクレーム等にはつながない。</li> <li>⑤死亡診断の結果は家族から伝えられていないが、病気によるものと考えられる。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
1月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現認できていないが、廊下で倒れており、後頭部から出血が見られる。その後嘔吐もあり、通院し検査の結果様子観察とのこと。</li> <li>②事故の状況について電話にて第一報を行う。</li> <li>③頭部を打った為数日間嘔吐や発熱等の経過観察につとめる。</li> <li>④家族後見人に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤日頃転倒は見られないが、服薬調整の影響か足元がふらつくことが見られた。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
1月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①早朝互いの男児児童が互いの陰部を触り合った様子。互いの証言が食い違い事実は定かではないが、過去に同様のケースがあった。</li> <li>②事故の状況と再発防止策について電話にて第一報を行う。</li> <li>③双方児童に対して児相による聞き取りと性的プログラムを行う。</li> <li>④児相を通じて関係者に報告するが家族等からのクレームはなかった。</li> <li>⑤様々なストレスが性的案件に繋がることも考えられる。</li> <li>⑥無し</li> </ul>
3月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>①起床時の歩行がいつもと異なった為朝食後に足を確認し腫れを発見、通院の結果右足第4趾骨折の診断。</li> <li>②事故の状況について電話にて第一報を行う。</li> <li>③ギプス固定し1か月程で完治。</li> <li>④家族後見人に報告しクレーム等はなかった。</li> <li>⑤靴を脱ぎあるくことがあり、夜間居室で足をぶつけたことが原因として考えられる。</li> <li>⑥無し</li> </ul>

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。



## 11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。